

平成 22 年 10 月度情報発信 No. 38

お世話になっております。皆様方ご健勝のこととお喜び申し上げます。平成 22 年 9 月初旬～平成 22 年 10 月末にわたる情報発信をお届け致します。酷暑の長い夏が終わったと感じた途端、すでに短いと思われる秋になっています。

日頃は、各社殿と情報発信、技術相談、研究指導を通じて、新鮮な問題に接することが出来る喜び、仕事からの刺激などありがたく思っています。体力的にはきつく感ずることもありますが、各社殿と一緒に考えることが、いいアイデアが浮かんでくるようです。

最近、日中関係が尖閣諸島での中国漁船の拿捕事件以来、おかしな関係になっています。中国の GDP が日本を抜いて世界第二位になることも無関係ではなさそうです。新聞論調などを参考にすると、

- ⑩ 外交は弱腰であってはならない。弱腰を見透かされれば、国は侵食され、固有の領地を奪われるであろう。
- ⑪ しかし、世界経済がアジアを中心に発展している現状において、経済的観点の上では、中国と仲良くやっていくべきである。
のようである。菅首相のしっかりした舵取りを希望したい。

私的なことで恐縮ですが、私の趣味のことに少し触れます。趣味を持つことは、人生を楽しむ上に大事であります。趣味は友人を増やし、また健康保持に役立ちます。これが、私の持論です。この 2 ヶ月間のエピソードをご紹介します。

10) 私のゴルフに、この酷暑の 2 ヶ月間の間に異変が起きました。

スコアがこの数年間 100 前後であったのが、酷暑の最中、8 および 9 月、急に 90 前後に収斂し出しました。ゴルフをやり始めて、30 余年の間で、初めてハーフ 30 台が出ました。また、コースの 9 月度月例杯でグロス 90 で優勝しました。22 年振りです。

何が変わったかといえば、ゴルフのショットに、やれ飛んだとか、飛ばないとかと言うようなことに気を遣わなくなりました。パターとアプローチが大変良くなり、結果として、スコアが改善しました。しかし、10 月になって、また、2 度ほど 100 前後のスコアを叩きました。ティーショットの飛距離に色気を使ったせいです。いずれにしる、好スコアを夏の椿事に終わらせないように、人生における最後のチャンスとして、上達に努力を続けたいと考えています。

ゴルフのメリットは、研究畑で仕事をしている関係上、日頃は、文章を読んだり、実験データとにらめっこしたりで、日常、狭いところばかりを見えています。たまに、広々とした緑の野原に目を転ずることは、すべてのことから解放される喜びがあります。また、会社のコンペなどでは、日頃、雲の上の上司とも対等に話ができるよさも

ありました。

日経新聞の「私の履歴書」に大倉敬一氏（月桂冠相談役）が、父母、及びご自身の健康の秘訣はゴルフだと書いておられます（平成 22 年 10 月 30 日）。コースに出て、恥ずかしくない程度のゴルフをするために練習で身体を動かし、たまに、コースに出て目の保養、友人との交流を楽しむことは、健康に大変良いと同感です。

1 1) 外国語の勉強のこと

若いときから、仕事の必要性から英語を勉強し、最近では中国語学習に、この 4 年間力を注いできました。最近では、加齢のせい、本当に語学をマスターできるか疑問を持つようになりました。

去る 10 月 29 日（金）、毎週一度出席している夜の中国語教室に出席しました。中国人女性教師が通常の中国語の会話スピードで浜松における餃子サミット（平成 22 年 10 月 23 及び 24 日）のことを紹介してくれました。日本の餃子の拠点は、浜松市と宇都宮市（宇都宮餃子は、日経新聞の平成 22 年 10 月 30 日の何でもランキング、食べに行きたいご当地グルメで 6 位にランキングされています）であり、両都市とも数百件の餃子店が軒を競っているようです。浜松の餃子サミットでは、宇都宮を除いた愛知、三重、北海道などの参加があり、水餃子、焼き餃子、形も通常の大きさのものから饅頭くらいの大きい餃子、餃子の具と味の話など、中国語による話の内容が、最初、全然理解出来ませんでした。今の實力では、教科書で習ったことは理解できますが、自分のテリトリーの外にある話にはついていけないのです。

語学勉強は、少し自信を得ると、すぐ落胆に襲われます。自信と自信喪失のサイクルで、語学力が伸びるのでしょうか？ 言い換えれば、4 年くらいの勉強で、どんな内容の話にもついていけるようになるならば、外国語学習に誰も苦労しませんね？ 思えば、英語などは、中学生の時から今まで勉強しており、少々話せるのは当然だと思われる代償を払っているわけです。それに比べると、4 年間の中国語学習、しかも、一日数十分の学習で上達を期待するのは性急という事でしょう。

また、語学の上達のためには、その言葉が話される現地に行って、現地言葉を使って、片言でも会話ができる楽しさを味わうことが、語学学習を続ける秘訣でしょう。私も、中国に出張する折は、上海で時間があれば、数時間でも上海外国語大学内の中国語コースに顔を出すようにしています。それで、正しい発音をマスターするようにしています。この中国語コースは、弊社のクライアント会社のある社長さんに紹介して頂きました。

活動報告

特記事項

- ① クライアント会社に研究報告（9/3）
- ② 腐食防食協会 関西支部主催見学講演会に出席（於日新製鋼(株)堺製造所、9/8）
- ③ クライアント会社と合同で、九州の会社で新製品の PR 会（9/13）
- ④ クライアント会社で研究指導 電気化学測定技術の習得 第 3 回目（於北九州市、

9/14)

- ⑤ 大阪技術振興協会 打ち合わせに出席 (9/15)
- ⑥ 大阪市立大学工学部 3 回生 20 人対象に、環境材料学の集中講義 30 時間(9/16~9/24)
- ⑦ 大阪技術振興協会 技術士二次試験セミナー講師 (9/25)
- ⑧ クライアント会社で研究指導。 リサイクル事業における防食技術 (於堺市 9/28)
- ⑨ JICA 主催 プロセス工業におけるクリーナープロダクション(A) コースにおいて、
1 日腐食防食の講義。アルゼンチン、ポリビア、チリ、コロンビア、エクアドルから 7 人参加。
- ⑩ 新製品打ち合わせ (於高槻、10/9)
- ⑪ クライアント会社で講演 (於津山、10/14)
- ⑫ 大阪技術振興協会 理事会に出席 (10/15)
- ⑬ クライアント会社で研究指導 電気化学測定技術の習得 第 3 回目 (於北九州市、
10/28)